

## 部会長巻頭言

### ～シーリング制度導入による部会財務対応～

Covid-19 下で 2020-21 年度は部会の主要なイベントが対面で開催できず、2022 年度もまだ制限がかかっておりましたが、2023 年度になりようやく化学工学会のほぼ主要イベントが対面に戻りました。その間、本部会の「分科会運営細則」の簡素化および部会事務処理の単純化に取り組んできました。これらは本年度より実施されており事務作業量は格段に整理され減少しております。また本部会 Web サイトのサーバー変更と HP リニューアルが事務局藤岡先生により進められており近日公開となる予定です。

一方近年、化学工学会の財政問題が顕在化し、2022 年度化学工学会理事会において「シーリング制度による支部・部会財産の本部への移管」が決定され、2023 年度から実施されます。この制度は化学工学会が「公益社団法人」であることに由来しています。公益社団法人格を維持するには、遊休財産(目的を持たない資金)の所有が制限されます。具体的には、部会の過去3年間の総支出の平均額の 1.5 倍がシーリングに設定され、これを超える部会(分科会含む)の遊休財産は化学工学会本部に移管され、その用途は部会の自由にはなりません。また 2023 年度以降の新規の基金(目的を持つ資金)化も認められません。

そこで本部会では 2022 年度内に部会事務局が管理する遊休財産のほぼすべてを将来の部会主催の国際会議資金と本年度 HP 作成資金として基金化を完了しました。しかしながら、これでさえまだシーリング額を超えており、2023 年度は部会から本部への財産移管が発生するため、分科会への交付金はありません。

そこで各分科会におかれましては、会員への還元等によるご所有の遊休財産の削減ならびに活動の活性化による支出の増大をお願いいたします。本来であれば、分科会の皆様には将来の新規事業や公益イベント開催資金として長年貯蓄されている貴重な資金のこのような事情で消費していただくことはたいへん心苦しいところではありますが何卒ご理解いただけますようによろしくお願いたします。もしご不明な点やご意見がありましたら、化学工学会本部より直接ご説明いただけるのでお問合せください。

(部会長・寺坂 宏一(慶應義塾大学))

## 2023 年度 部会幹事会報告

2022 年度第 2 回定例幹事会

日時:2023 年 3 月 15 日

場所:化学工学会第 88 年会 H 会場

議事:

- (1)前回議事録の確認
- (2)本日理事会承認事項および部会長会議の報告
- (3)2022 年度部会・分科会活動報告
- (4)2023 年度事業計画
- (5)2022 年度分科会配分
- (6)2022 年度決算
- (7)2023 年度予算
- (8)2022-2023 年度部会長および副部会長について
- (9)若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会
- (10)部会賞について
- (11)2022 年度部会セミナーについて
- (12)承認事項
- (13)その他

なお、部会幹事会議事録は部会 HP からご覧いただけます。

(事務局・藤岡沙都子(慶應義塾大学))

## 粒子・流体プロセス部会賞 (奨励賞・プレゼンテーション賞)

化学工学会第 54 回秋季大会における粒子・流体プロセス部会企画のセッション「SY-52 熱物質流体工学の最前線 2023」, 「SY-53 流動層の最前線 2023」, 「SY-54 粉体プロセスの進展 2023」, 「SY-55 気泡・液滴・微粒子分散工学 2023」, 「SY-56 ミキシング技術の最前線 2023」における発表を対象としてシンポジウム賞(奨励賞とプレゼンテーション賞)を選考する予定です。奨励賞はエントリー制となっており、審査を希望する 37 歳未満の正会員の発表を対象としております。プレゼンテーション賞は、社会人博士課程在籍者を除く学生会員による全発表を審査対象としています。今年度は、現時点で奨励賞に 2 名の方がエントリーされました。また、プレゼンテーション賞の対象者は、SY-52 17 名、SY-53 8 名、SY-54 13 名、SY-55 6 名、SY-56 19 名、合計 63 名となっています。発表される皆さん、頑張ってください。また、正会員の皆様には審査へのご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

(シンポジウム賞担当・鈴川 一己)

### 粒子・流体プロセス部会賞 (フロンティア賞)

2023 年度のフロンティア賞の募集を行っています。化学工学論文集, *J. Chem. Eng. Japan* など, 化学工学に関連する国内外の学術雑誌や同関連の国際会議等での査読付き Proceedings に掲載された論文の中で, 特にフロンティア性の高い優秀な研究論文で, 本部会会員が著者になっている論文を9月29日(金)までにご推薦ください。

募集要領は部会のウェブサイト(<https://scej-fpp.org/partluid/data/hyosho/Frontier/frontier.p hp>)をご覧ください。

(フロンティア賞担当・藤本 敏行)

### 粒子・流体プロセス部会賞 (動画賞)

2023 年度動画賞は, 化学工学会第 54 回秋季大会の以下のセッションにおいて発表される内容を対象に募集しています(締切: 令和 5 年 10 月 6 日)。

- ・SY-52 熱物質流体工学の最前線 2023
- ・SY-53 流動層の最前線 2023
- ・SY-54 粉体プロセスの進展 2023
- ・SY-55 気泡・液滴・微粒子分散工学 2023
- ・SY-56 ミキシング技術の最前線 2023

審査委員会を結成後, 厳正な審査を行い, 本年 11 月末を目途に受賞作品を決定します。本動画賞は, 研究, 技術, 教育の各部門において授与されます。表彰式と作品鑑賞会は化学工学会第 89 年会時に行われる予定です。なお, 受賞作品は部会 HP にもリンクしますので, 過去の受賞作品とあわせて会員の皆様にご覧頂ければ幸いです。

(動画賞担当・長津 雄一郎)

### 粒子・流体プロセス部会賞 (技術賞)

現在, 2023 年度の技術賞の募集を行っています。自薦・他薦は問いません。応募締切は11月17日(金)です。以下のホームページより募集要項, 候補者推薦用紙, 技術賞規程をダウンロードできます。部会会員の皆様からの多数のご応募をお待ち申し上げます。

<https://scej-fpp.org/partluid/data/hyosho/Gijutsu/gijutsu.php>

(技術賞担当・押谷 潤)

### 部会セミナー

2017 年度より, 部会セミナーは部会総会とともに年会のセッションの一つとして開催されております。粒子・流体プロセス部会奨励賞, フロンティア賞, 技術賞, 動画賞の受賞講演を下記の通り行う予定です。多数の方のご参加をお待ちしております。

#### 【令和 5 年度 部会総会・部会セミナー概要】

日時: 令和 6 年 3 月 18 日(月) 年会初日午後  
場所: 第 89 年会@大阪公立大学の粒子・流体プロセス部会関連の発表会場を予定 (オンライン or オンサイトの開催方式は未定です。)

プログラム:

●部会幹事会

●部会総会

●部会セミナー

部会賞受賞記念講演

・プレゼンテーション賞(奨励賞)(選考中)

・フロンティア賞(募集中)

・技術賞(募集中)

・動画賞(選考中)

詳細が決まり次第, 部会のメーリングリスト等を利用してお知らせ致します。

(部会セミナー担当・松隈 洋介)

### 若手女性育成プロジェクト

今年度も恒例の「第 11 回若手研究者・技術者を対象とした見学講演会および交流会」を2023年12月開催を予定しております。昨年と同等, オンラインにて工場見学や各社の取り組みについてご紹介致します。

また, 個別セッションを設けて, 発表者と関連な議論ができます。昨年度実施後のアンケートでは, 概ね高評価を頂いており, 皆様の一層のレベルアップに繋げて頂ければ幸いです。学生さんは就活を見据えての企業調査としてもご活用頂けます。粒子・流体プロセスにご興味があればどのような方でも気軽に参加頂けるイベントですので, ぜひ参加をご検討ください。

(若手女性育成プロジェクト担当: 坂倉 圭(出光昭和シェル)・伊奈 智秀(ダイセル)・島田直樹

(住友化学)

### 分科会からのお知らせ

#### 熱物質流体工学分科会

化学工学会 第54回秋季大会(9/11-13)の前日に熱物質流体工学セミナー2023を下記の通り企画しております。

### <熱物質流体工学セミナー2023>

日時：9月10日(日) 15:00 - 17:30 (14:30開場)

開場：JR博多シティ9階会議室(1) (博多駅直結)

福岡県福岡市博多区博多駅中央街1番1号

<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/meetingroom/access.html>

#### ●プログラム

15:00～15:05 開会挨拶

15:05～16:05 講演1

講演者：同志社大学 山本大吾 氏

講演題目：界面現象によって誘起されるアクティブマターおよび自己組織化の創生

16:05～16:20 休憩

16:20～17:20 講演2

講演者：岡山大学 渡邊貴一 氏

講演題目：マイクロ流体工学を駆使したソフトマテリアルの設計と分析

18:00～ 会場を移して意見交換会

#### ●申込方法(9月7日(木)締切)

下記Googleフォームより必要事項を入力ください。

<https://forms.gle/HK9ATxzHfznh8D76>

セミナー翌日の秋季大会初日には、SY-52 [粒子・流体プロセス部会シンポジウム] 熱物質流体工学の最前線 2023を企画しており、22 件の口頭発表が行われます。是非ご参加下さい。

(分科会代表・三角 隆太)

### 気泡・液滴・微粒子分散工学分科会

気泡・液滴・微粒子分散工学分科会の 2023 年度の行事を案内いたします。福岡大学で行われます化学工学会第 54 回秋季大会2日目に気泡・液滴・微粒子分散工学 2023 のセッションを企画し、10 件の講演を頂くことになっております。そのうち、1 件の展望講演が予定されており、鹿児島大学・五島 崇先生から「バブルジェネレーター開発から見えてくるファインバブル技術の現状と将来」という題目のご講演をいただきます。また招待講演として、PAS の Nedeltchev Stoyan 先生より、[優秀論文賞] Novel Hybrid Index for Identifying the Main Transition Velocities in Various Bubble Columns のご講演を頂きます。

また、第 27 回気液固分散工学サロンを大会 1 日目の 9 月 11 日に大会会場とは異なる工学部 4 号館 1F の多目的ホールにて行います。今年度は Nedeltchev Stoyan 先生よりご講演をいただきます。ご都合よろしければ、是非、セッションおよびサロンにご参加ください。

(分科会代表・松隈 洋介)

### 粉体プロセス分科会

第 54 回秋季大会では SY-54 部会シンポジウム「粉体プロセスの進展 2023」を開催いたします。会期の初日(9 月 11 日)に開催され、18 件の講演が行われる予定です。奮ってご参加ください。

また、(一社)粉体工学会粉砕の高度利用研究会が主催する「第 12 回機能性粉体プロセス研究会」を共催いたします。対面での開催を予定しており、申込受付期間は 8 月 23 日(定員 20 名)となっていますので、奮ってご参加ください。

当分科会では、粉体材料、粉体プロセスに関するシンポジウムに積極的に共催・協賛していきたいと考えております。共催・協賛の依頼は分科会代表の藤本([fjmt@mmm.muroran-it.ac.jp](mailto:fjmt@mmm.muroran-it.ac.jp))までお寄せください。

(分科会代表・藤本 敏行)

### 流動層分科会

化学工学会 第 54 回秋季大会の第 1 日に SY-53 [粒子・流体プロセス部会シンポジウム] 流動層の最前線 2023 を開催します。2 件の招待講演と 1 件の一般講演がございます。なお、本シンポジウムは、これまで化学工学会秋季大会とは別開催の第 29 回流動化・粒子プロセッシングシンポジウムに相当します。

(分科会代表・押谷 潤)

### ミキシング技術分科会

分科会恒例の夏期セミナーは、ミキシングの研究者、メーカー、ユーザーが一堂に会し情報交換する場となっています。今年は関東地区の幹事のご尽力により、「最新の乳化、分散技術」と題して、8月23、24日にアルカディア市ヶ谷私学会館において開催を予定しています。オンライン参加も可能です。講演は、アカデミックの研究講演2件、メーカーの講演5件の計7件の講演が予定されています。詳細については分科会 HP をご覧ください。

また、東日本、関西・東海、九州・中国の地区行事であるミキシングサロンも10月以降に予定されています。詳細が決まりましたら分科会 HP に掲載する予定です。

(分科会代表・鈴木 一己)

### 部会(分科会)への入会方法

■化学工学会の個人会員の方は、化学工学会 HP(<http://www.scej.org/>)の「各種申込>部会入会>(分科会選択を忘れずに)」より、お申し込み下さい。eメール変更などは化学工学会HPでの

み行えます。

■非化学工学会会員の方で、本部会の法人特別会員、特別個人会員入会をご希望の方、退会をご希望の方、eメール変更等のお問合せは**直接ご希望(ご所属)の分科会にご連絡下さい。**

■その他、ご不明な点がありましたら

<https://scej-fpp.org/partluid/info.php>に掲載しています部会事務局までお問合せください。

#### 部会ニュースレター編集後記

ニュースレターにご執筆いただいた皆様、ご多用の中ありがとうございました。このニュースレターが部会活動の情報提供に寄与できましたら幸いです。

(ニュースレター担当・三角隆太、春藤 晃人)